教科書Unit.58- 2　5年　分数の約分と通分
通分

例題と解説

例題１

次の分数のうち大きいほうの分数はどちらですか。

（1）$\left(\frac{2}{3}, \frac{3}{5}\right)$

（2）$\left(\frac{3}{8}, \frac{5}{12}\right)$

（3）$\left(1\frac{7}{12}, 1\frac{11}{18}\right)$

答え　（1）$\frac{2}{3}$（2）$\frac{5}{12}$（3）$1\frac{11}{18}$

[例題１の解説]

分母の異なる分数の大きさを比(くら)べる場合は分母をそろえます。いくつかの分数の分母をそろえることを**通分**(つうぶん)といいます。

（1）　$\frac{2}{3}$と$\frac{3}{5}$なので、分母は3と5です。

3の倍数　3，6，9，12，15，18，21，24，27，30，…

5の倍数　5，10，15，20，25，30，…

3と5の最小公倍数は15であることがわかったので、3と5の公倍数は15，30，45，60，… です。

分母を最小公倍数の15にそろえます。

$\frac{2}{3}=\frac{10}{15}$、$\frac{3}{5}=\frac{9}{15}$ より大きいほうは$\frac{2}{3}$であることがわかります。

（2）　$\frac{3}{8}$と$\frac{5}{12}$なので、分母は8と12です。

8の倍数　8，16，24，32，40，…

12の倍数　12，24，36，48，…

8と12の最小公倍数は24であることがわかったので、8と12の公倍数は24，48，72，96，… です。

分母を最小公倍数の24にそろえます。

(C) 2014 min-san.com

$\frac{3}{8}=\frac{9}{24}$、$\frac{5}{12}=\frac{10}{24}$ より大きいほうは$\frac{5}{12}$であることがわかります。

（3）　$1\frac{7}{12}$と$1\frac{11}{18}$なので、分母は12と18です。

12の倍数　12，24，36，48，60，…

18の倍数　18，36，54，72，…

12と18の最小公倍数は36であることがわかったので、12と18の公倍数は36，72，108，… です。

分母を最小公倍数の36にそろえます。

$1\frac{7}{12}=1\frac{21}{36}$、$1\frac{11}{18}=1\frac{22}{36}$ より大きいほうは$1\frac{11}{18}$であることがわかります。

(C) 2014 min-san.com

教科書Unit.58- 2　5年　分数の約分と通分
通分

例題と解説

例題２

□にあてはまる等号や不等号を答えなさい。

（1）　$\frac{5}{18}$ □ $\frac{17}{54}$

（2）　$\frac{16}{48}$ □ $\frac{12}{36}$

答え　（1）＜　（2）＝

[例題２の解説]

（1）　$\frac{5}{18}$と$\frac{17}{54}$を通分します。18と54の最小公倍数は54なので54にそろえます。

$\frac{5}{18}=\frac{15}{54}$ より、$\frac{5}{18} < \frac{17}{54}$

（2）　通分する前に約分します。$\frac{16}{48}=\frac{1}{3}$ ，$\frac{12}{36}=\frac{1}{3}$

よって、$\frac{16}{48}=\frac{12}{36}$

ポイントまとめ

・分母の異なる分数の大きさを比(くら)べる場合は分母をそろえます。
・いくつかの分数の分母をそろえることを**通分**(つうぶん)といいます。

(C) 2014 min-san.com